

## (一般質問)

質問日	令和7年12月8日(月)			質問方式	分割方式		
質問順位	6	会派名	自由民主党浜松	議席番号	43	氏名	花井 和夫
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 音楽のまちづくりについて	<p>大阪・関西万博において、本市の単独イベントとして第12回浜松国際ピアノコンクール優勝者の鈴木愛美さんや地元楽器メーカーの協力のもとに「音楽の都・浜松コンサート」を開催し好評を得た。出演アーティストの秀逸な演奏もさることながら、浜松の誇る楽器メーカーの技術や産業と音楽が融合した素晴らしいステージであった。音楽の都として音楽のまちづくりに大きく繋がるものである。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 「音楽の都・浜松コンサート」の成功について、市長は「浜松の底力が見えたと思う。これをきっかけに多くの皆さんに浜松の音楽、そして浜松に関心を持ってもらいたい」と手応えを感じていると話している。市長の音楽のまちづくりに向けての考えを伺う。</p> <p>(2) 本市には楽器産業の集積があり、音楽のまちづくりに向けて大きな強みとなっている。音楽のまちづくりにおける楽器産業の振興について伺う。</p> <p>(3) 音楽のまちづくりをはじめとする創造都市の推進には、庁内組織とともに産官民の協働による推進体制の構築が重要と考える。本市において産官民の協働をどのように進めていくか伺う。</p>						中野市長       北嶋産業部長       嶋野文化振興 担当部長
2 防災人材の育成について	<p>南海トラフ地震の発生が危惧される中、防災力の強化は最重要課題となっており、地域の自助・共助による対策において防災人材の存在が不可欠である。防災意識が高まる中で、効果的な防災訓練の実施や災害時の対応など災害に対する正しい知識や、防災活動の技術を持つ防災人材の育成により地域防災力を強化していくべきである。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市の防災士の登録者数は他都市に比べて少ない。防災士や静岡県ふじのくに防災士の資格取得に向けた今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 自主防災隊で女性の視点を活かすための女性防災リーダーの育成について伺う。</p>						清水危機管理 監
3 教育施策について (1) 志を育む教育について	<p>(1) AIやデジタル化が進む中、子どもたちを取り巻く社会は大きく変化しており、将来の職業や生き方が多様化する一方で、「自分は何のために学ぶのか」「どんな人生</p>						野秋教育長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
(2) 全国学力・学習状況調査の結果について	<p>を歩みたいのか」が見えにくくなっている現実があり、志を育む教育が大切だと考える。</p> <p>教育長は、所信表明において一人一人の心に「志」を育むことを目指して職務を全うしてきたと話されている。本市においても、日本の教育文化でもある元服式に因んだ立志式が全地域で開催されてきたが、学校ごとに取り組み内容に差が見られ、開催校は減少してきたと聞く。「志」を立てる機会となる立志式の実施など、「志」を育む教育について伺う。</p> <p>(2) 小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施する全国学力・学習状況調査の今年度の調査結果が公表された。本市の平均正答率は、全国平均と比較して、小学校の理科を除き一定の効果を上げている。また、同調査の児童生徒質問調査では、自己肯定感に関する項目で過去最高の数値となるなど、全国平均を上回る結果であった。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>ア 令和 7 年度の結果をどのように評価しているか、課題も含め伺う。</p> <p>イ 課題への対応として授業改善など教育施策の改善をどのように進めていくか伺う。</p>	吉積学校教育部長
4 動物介在活動について	<p>本市は、政令指定都市の中で犬の登録数の割合が最も高いというデータもあり、全国的にペットの飼育率が高い動物と暮らす街である。近年、動物介在教育や動物介在療法など動物介在活動が教育や医療、福祉などにおいて精神的な安定や命を大切にする心の育成に効果があると注目されている。</p> <p>動物に関する正しい知識の普及啓発と共に動物愛護の意識を高め、命の大切さや思いやりを育む、動物介在活動を取り入れた、動物愛護教室やいのちの教育プログラムの取り組み状況について伺う。</p>	板倉保健所長
5 報徳とSDGsについて	<p>二宮尊徳（金次郎）による報徳の精神は、本市を中心に遠州地方で大きく発展し、本市の産業発展や地域づくり、また人づくりや教育、さらには福祉などにその精神が果たしてきた役割は大きいものがある。やらまいか精神とともに、本市の二大精神と言える。誰一人も取り残さない持続可能な地域づくりや人を大事にする報徳の精神はSDGsに繋がる。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 報徳の精神が、本市の地域産業の発展に果たした役割について伺う。</p> <p>(2) 今年は国連が定めた国際協同組合年である。日本での協同組合の始まりは、報徳を実践した農村共同体が、その先駆けとされている。様々な分野における協同組合が</p>	<p>北嶋産業部長</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>地域産業の発展に果たしてきた役割について、本市の考えを伺う。</p> <p>(3) 市内には二宮金次郎像が設置されている学校も数多くあり、報徳の精神に関する学校での取り組みについて伺う。</p> <p>(4) S D G s と報徳には親和性があり、本市のシビックプライドの醸成に繋げるなど本市としての考えを伺う。</p>	<p>野秋教育長</p> <p>工藤企画調整部長</p>
<p>6 「歴史都市・浜松」の実現に向けて</p>	<p>本市は、全国でも屈指の数多くの多様な文化財を保有しており、文化財の保存と活用により、歴史都市・浜松の実現に向けて様々な取り組みが行われている。一方で、社会状況の変化により文化財の滅失や散逸、さらには継承の担い手不足などが課題となっており、総合的な視野に立った文化財の保存活用の推進が求められている。また、文化財の調査・研究で得られた成果を観光振興や地域振興に繋げていくべきであり、調査研究なくして文化財の観光資源化はあり得ない。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 市内に存在する古墳など遺跡の調査について伺う。</p> <p>(2) 秋葉信仰関連文化財群の調査が行われているが、調査の状況について伺う。</p> <p>(3) 総合的な視野に立った地域における文化財の活用・保存のために必要な専門人材の資質向上について伺う。</p> <p>(4) 文化財の調査や研究の成果を観光資源として活用していく取り組みについて伺う。</p>	<p>嶋野文化振興担当部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>中村観光・ブランド振興担当部長</p>